

平成30年度 事業概要



伊豆縦貫自動車道 天城北道路 天城湯ヶ島IC(仮称)付近

平成30年4月

国土交通省
中部地方整備局
沼津河川国道事務所

1. 沼津河川国道事務所概要

静岡県東部・伊豆地域において、安全・安心の確保、地域の活性化等に必要な社会資本の整備を進めています。

治水事業関係として、以下を行っています。

- (1) 狩野川の改修および維持修繕、水防や巡視および許認可などの管理業務
- (2) 狩野川上流域の砂防施設整備
- (3) 富士海岸の保全施設整備

道路事業関係として、以下を行っています。

- (4) 伊豆縦貫自動車道、東駿河湾環状道路西区間、国道1号、138号および246号の改築事業、それらに関する調査
- (5) 国道1号、138号、246号の維持管理及および許認可
- (6) 国道1号、138号、246号の交通安全対策

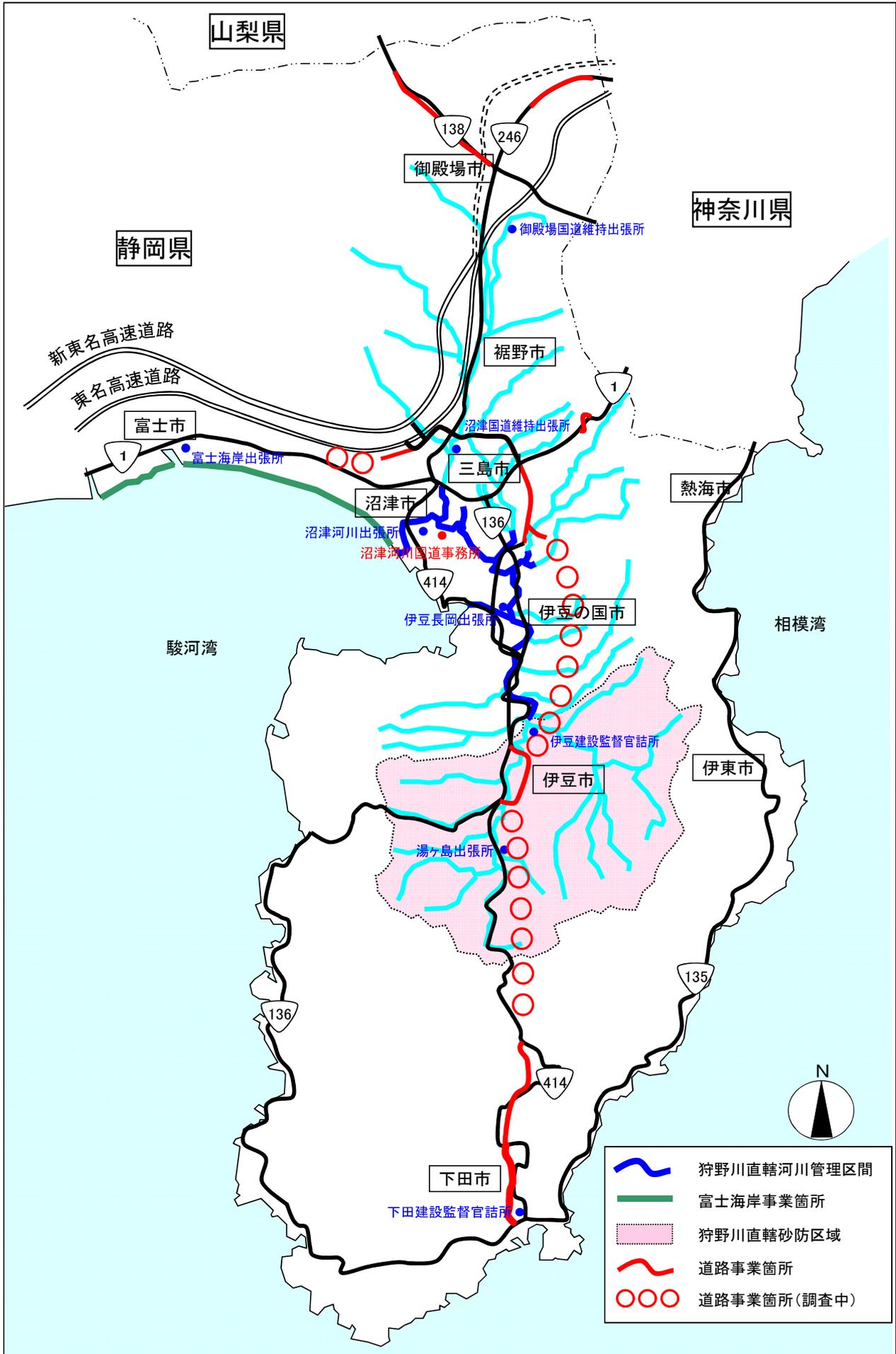
2. 平成30年度の事業費

単位：百万円

事業内容		平成30年度 当初	前年度 当初
治水関係事業	河川	1,855	2,054
	砂防	587	615
	海岸	500	829
	小計	2,942	3,478
道路関係事業	道路	14,209	14,254
合計		17,151	17,732

※上記金額は百万円単位で整理しているため合計金額があわない場合がある。

図一 沼津河川国道事務所管内事業箇所



3. 平成30年度の事業内容

(1) 河川関係

狩野川は、伊豆半島中央部の静岡県伊豆市の天城山系に源を発し、大小の支川を合わせながら北流し、田方平野から駿河湾に注ぐ幹川流路延長46km、流域面積852km²の一級河川です。

昭和42年6月に一級河川として指定され、このうち本支川（狩野川24.9km、黄瀬川2.7km、柿田川1.2km、大場川2.6km、来光川1.5km、柿沢川0.9km）の直轄管理区間（計33.8km）及び狩野川放水路（3.0km）について、河川改修及び維持管理を行っています。

平成30年度的主要事業内容

○狩野川における流下能力不足箇所の解消に向けて

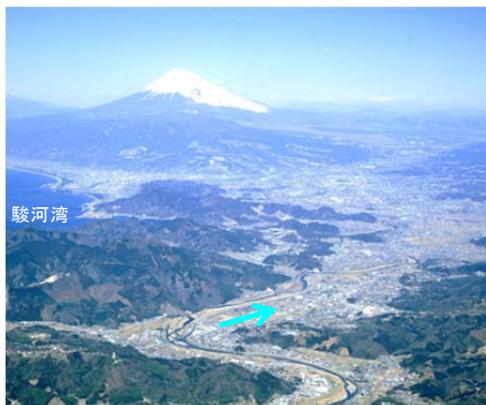
- ・平成27年9月の関東・東北豪雨を踏まえ、策定した「水防災意識社会 再構築ビジョン」の取組の一環として、緊急的な対策が必要とされる流下能力不足区間（沼津市大平地区）において引き続き、築堤及び樋管改築工事を実施します。
- ・また、流下能力が不足している黄瀬川（長泉町本宿地区）において、治水対策として築堤工事を実施します。

○狩野川下流部における治水安全度の向上にむけて

- ・資産が最も集中している下河原地区において、堤防高・堤防断面不足、流下能力不足区間へ築堤・護岸等の治水対策工事を実施します。

○防災ステーションの整備にむけて

- ・大規模出水や集中豪雨等による多様な水害等に備えるべく、円滑な水防活動や迅速な災害復旧を行うために必要となる塚本防災ステーション整備を引き続き実施します。

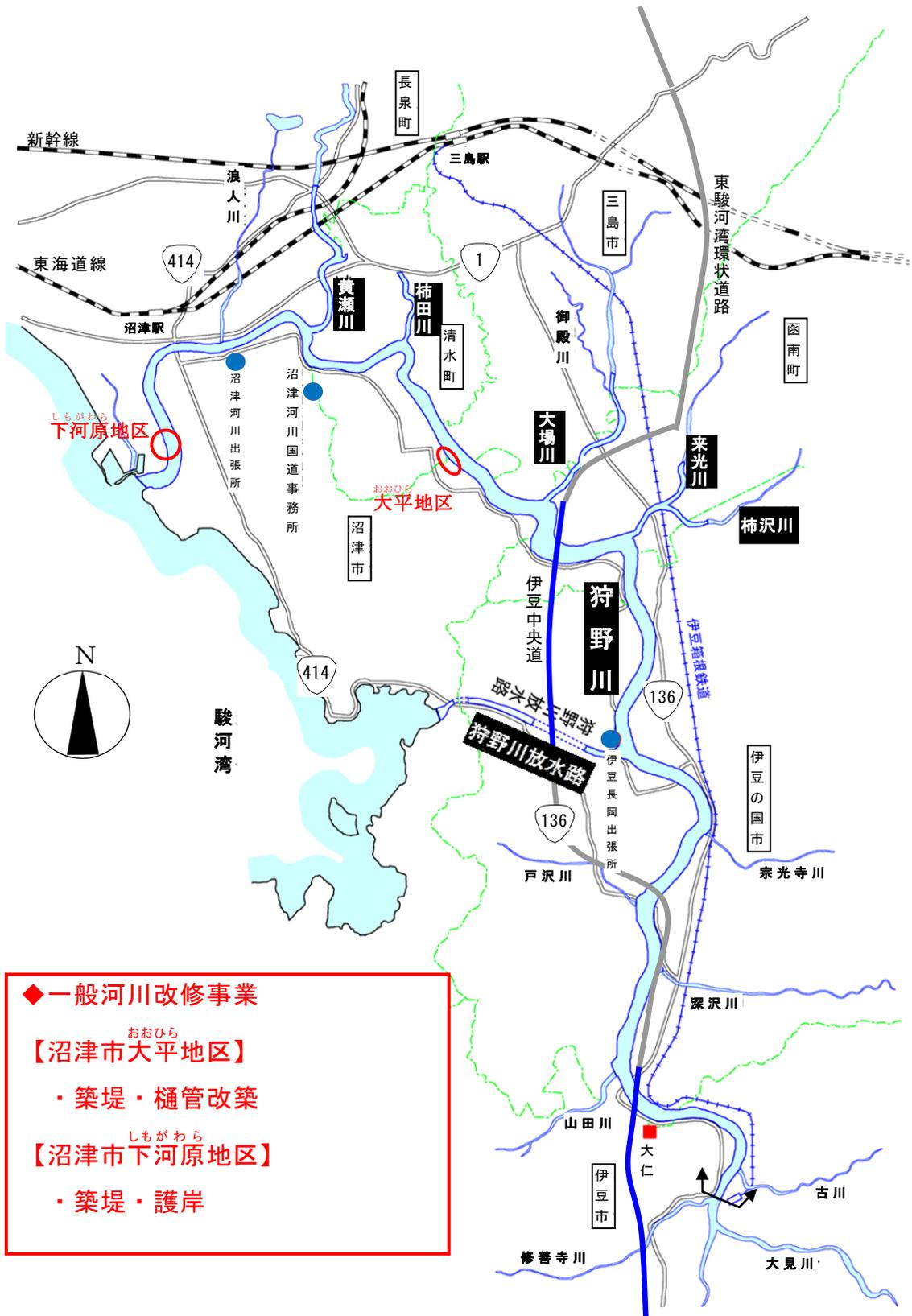


伊豆半島上空から見た狩野川



駿河湾 河口部と沼津市街地

平成30年度 沼津河川国道管内主要河川事業 位置図



- ◆一般河川改修事業
- 【沼津市^{おおひら}大平地区】
- ・ 築堤・樋管改築
- 【沼津市^{しもがわら}下河原地区】
- ・ 築堤・護岸

一般河川改修事業

河川資料①

静岡県沼津市^{おおひら}大平地区・沼津市^{しもがわら}下河原地区

沼津市大平地区

平成30年度は^{おおひら}大平地区の堤防高の不足区間において築堤護岸・^{ひかん}樋管改築を行います。

- ・ 現 状：^{おおひら}大平地区は堤防高不足や流下能力不足の箇所があり、また、内水被害が頻発する地区であるため洪水時には甚大な被害が生じるおそれがあります。
- ・ 対 策：平成28年度より継続的に堤防整備や^{ひかん}樋管改築を実施しています。

【大平地区の整備説明図】

事業位置図



沼津市^{しもがわら}下河原地区

平成30年度は下河原地区の堤防高の不足区間において築堤・護岸整備を行います。

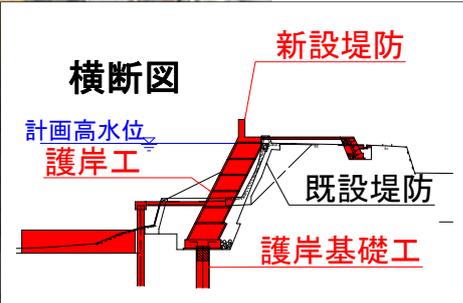
- ・ 現 状：下河原地区は堤防高・堤防断面不足や流下能力不足の箇所があるため、洪水時には甚大な被害が生じるおそれがあります。
- ・ 対 策：平成20年度より継続的に堤防整備を実施しています。

【下河原地区の整備説明図】

事業位置図



事業箇所図



狩野川総合水系環境整備事業

河川資料②

静岡県駿東郡清水町・田方郡函南町

かきたがわ 柿田川自然再生事業

平成30年度はかきたがわ柿田川自然再生事業としてがいらいしゆくじよ外来種駆除等を実施します。

- ・概要：かきたがわ柿田川は、ふじさんろく富士山麓の湧水を水源とし、湧水環境に依存する貴重な生物（ぜつめつきぐしゆ絶滅危惧種27種）が生息する特有の自然環境を形成しており、平成23年9月21日には、国指定文化財史跡名勝天然記念物として登録されています。しかし、近年、倒木や法面浸食による土砂の流出・堆積、本来生息しない植物（ツルヨシなど）の繁茂や外来種（オオカワヂシャなど）の侵入など、かきたがわ柿田川特有の生態系に影響を与える課題が発生しています。
- ・実施事業：貴重な水生植物が安定して生息・生育できる自然環境や景観の保全・再生を図るため、地域や関係者と一体となって、かきたがわ柿田川自然再生計画に基づき、堆積土砂の除去や外来種駆除などの自然再生事業を進めます。

◆整備イメージ

かきたがわ柿田川に本来生息しない種が繁茂

がいらいしゆくじよ外来種の侵入・増加

土砂の堆積(陸域化)

特有の自然環境を再生

○堆積土砂の除去

がいらいしゆくじよ○外来種の駆除

貴重な生物の生息・生育
※シマハ、イモ、ヒンズモなど

堆積土砂の除去状況

がいらいしゆくじよ外来種の侵入

狩野川

堆積土砂の堆積

特定外来生物の繁茂(オオカワヂシャ)

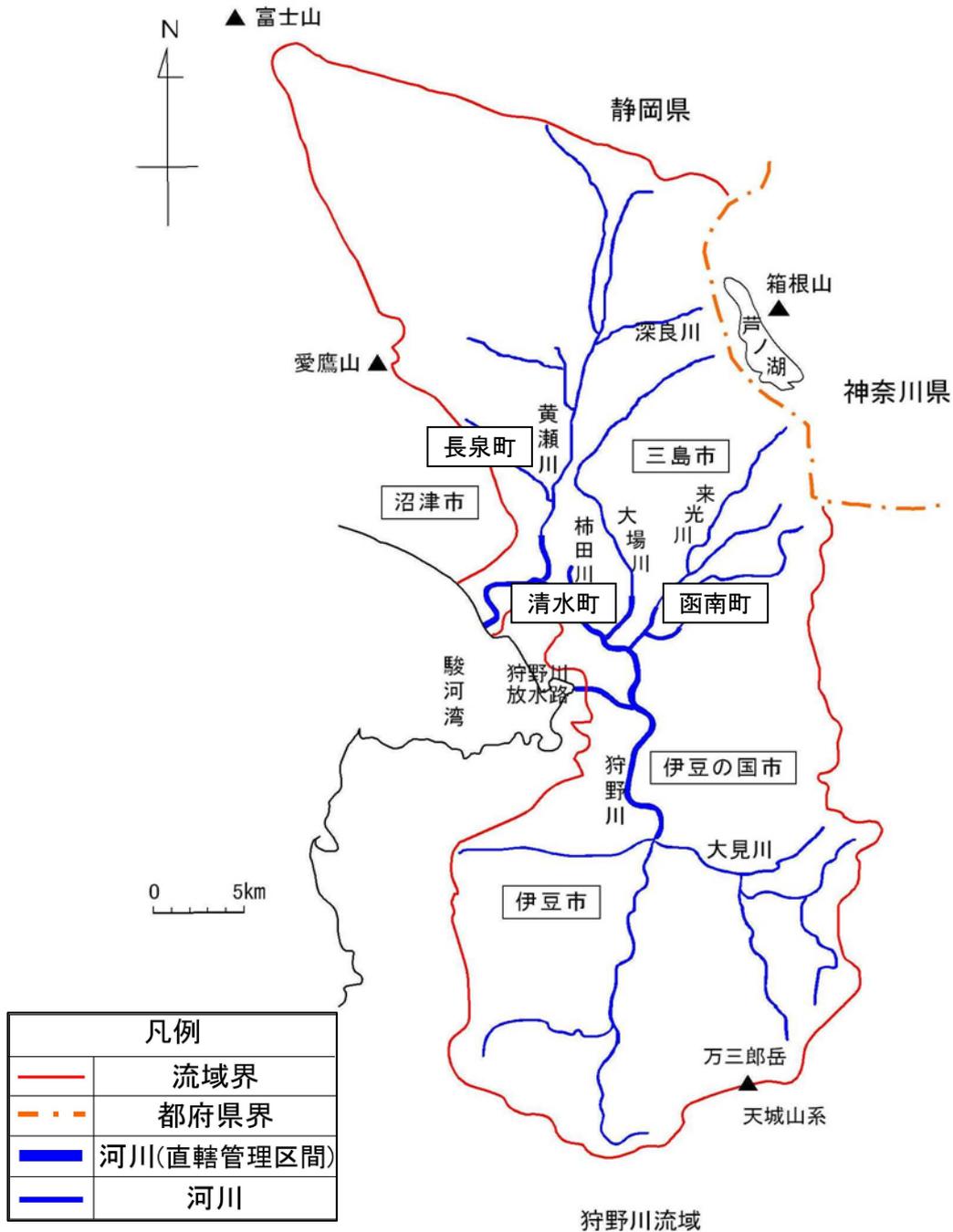
狩野川の適正な維持・管理

河川資料③

狩野川直轄管理区間全域

狩野川直轄管理区間の洪水の安全な流下と適正な河川利用等のため、^{じゅんし}巡視を行うとともに河川管理施設の点検・補修等を実施します。

直轄管理区間



河川の巡視

河川や堤防等に異常がないか、河川空間の利用時に危険はないか、ゴミ投棄などの不法行為はないかなどを把握するため、日常の巡視を行うとともに、台風などの出水時や、地震時等の緊急時に巡視を行います。



河川の巡視
(現地でタブレット端末を活用した巡視状況登録)



河川敷の不法投棄



不法投棄対応
(警告看板の設置)

河川管理施設の点検

堤防及び樋管・排水機場等の河川管理施設に異常がないか点検を行います。



堤防の点検



樋管ゲートの点検

狩野川放水路分流堰等の操作

狩野川放水路分流堰、排水機場、樋管、陸閘等の適切な操作を行います。



放水路分流堰の放流状況

河川管理施設の補修等

傷んだ堤防や護岸の補修、川の流れを阻害する樹木の伐開、出水で流れ着いた塵芥の撤去を行います。



樹木の伐開

水質事故対策

突発する水質事故に対処するため、関係機関と連携を取りながら必要な対策を行います。



水質事故対応の訓練状況

(2) 砂防事業 ～ 生命と財産を土砂災害から守るために ～

砂防事業は、土石流などの土砂災害から住民の生命、財産等を守るとともに、狩野川下流域への多量の土砂流出による河床上昇に伴う洪水氾濫を防止・軽減するために上流域において土砂の生産、流出を砂防施設によって調節することを目的としています。

当事務所では、昭和33年9月の狩野川台風を契機に、昭和34年から直轄砂防事業を実施しており、狩野川河口から約27.8kmの修善寺橋を起点とした上流域約270km²の狩野川流域（修善寺川流域を除く）において、砂防堰堤、溪流保全工の整備等の砂防事業を実施しています。

また、伊豆東部火山群の火山噴火緊急減災砂防調査も実施しています。

平成30年度の主な事業内容

- 「鹿群山砂防堰堤」の本体工事を継続します。
- 市山地区砂防堰堤工群「入洞沢第3・第4砂防堰堤」の本体工事を継続します。
- 上白岩地区砂防堰堤工群「奥の沢第2砂防堰堤」の用地調査、買収を継続します。
- 松沢川砂防堰堤工群「松沢川第1砂防堰堤」の用地調査、買収に着手します。
- 砂防事業の管内において溪流を監視する機器を整備します。
- 伊豆東部火山群の火山噴火緊急減災砂防調査を実施します。



土石流の直接的な被害から避難所、人家、国道等を保全する

「市山地区砂防堰堤工群※」

※市山地区を保全するには、複数の溪流があるため「堰堤群」として整備する必要があります。

砂防事業位置図



- 狩野川流域
- 狩野川直轄砂防事業区域



- 砂防堰堤(既設)
- 溪流保全工(流路工)(既設)
- 山腹工・護岸(既設)
- 直轄砂防事業実施区域
- ◎ 伊豆市役所
- 国道
- 主要地方道

かむれやま

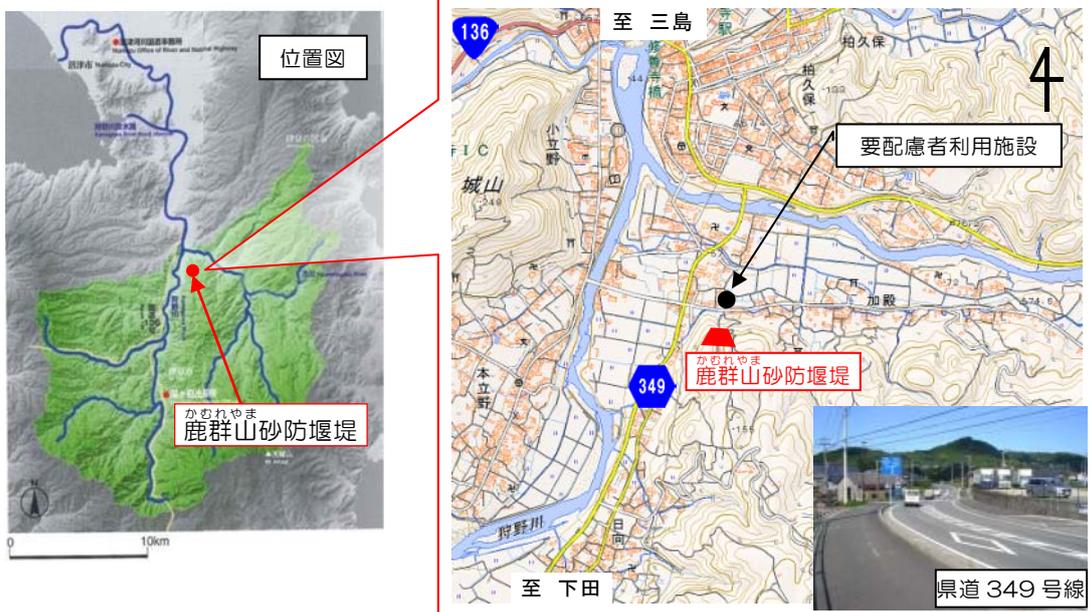
鹿群山砂防堰堤（継続）

砂防資料①

かどの
静岡県伊豆市加殿

平成30年度は、かむれやま 鹿群山砂防堰堤の整備を継続します。

かむれやま
鹿群山で想定される土石流の氾濫範囲には、要配慮者利用施設（デイサービス）、国道136号の代替機能を持つ県道349号、人家等があることから、これらを土石災害から保全するため砂防堰堤の整備を進めます。



まちざわがわ

松沢川砂防堰堤工群（新規）

砂防資料②

かじやま

静岡県伊豆市梶山

平成30年度は、^{まちざわがわ}松沢川砂防堰堤の整備に着手します。

^{まちざわ}松沢川で想定される土石流の氾濫範囲には、新たに建設されるライフライン（広域処分施設）や国道136号の代替機能を持つ県道349号線、家屋等があることから、これらを土砂災害から保全するための砂防堰堤の整備に着手します。

平成30年度は、事業着手に必要な用地調査、買収を実施します。



凡例

▲ : 計画地

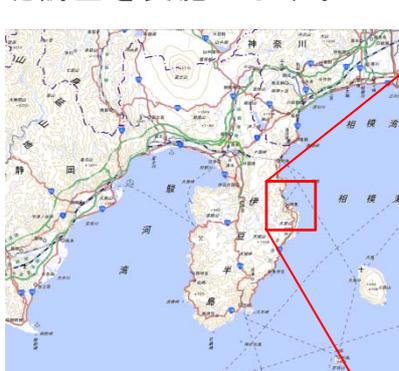
火山噴火緊急減災砂防調査（継続）

砂防資料③

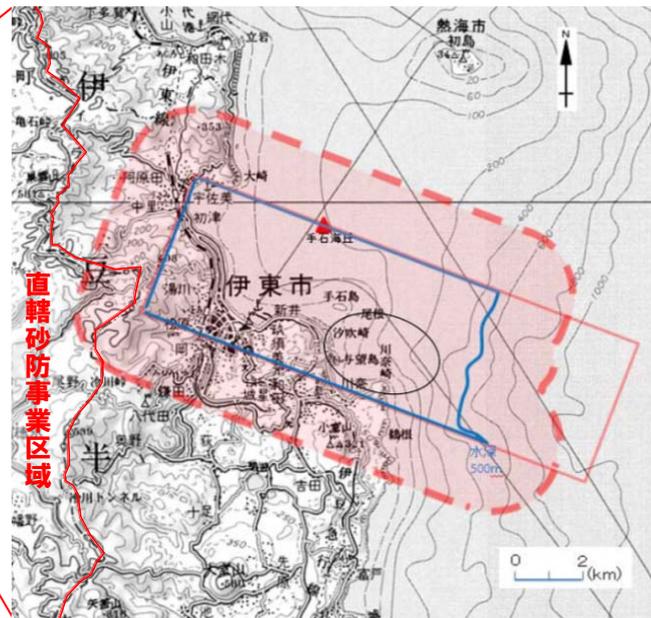
伊豆東部火山群

平成30年度も伊豆東部火山群の火山噴火緊急減災砂防調査を実施します。

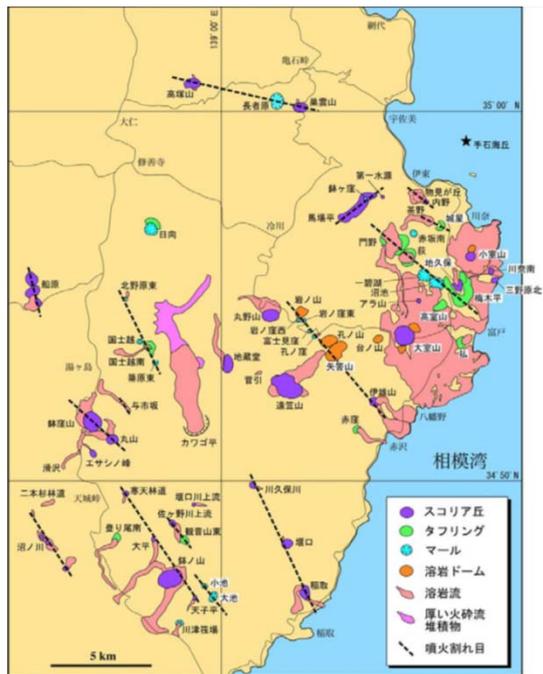
伊豆東部火山群における警戒避難体制整備のため、火山砂防ハザードマップ及び緊急減災砂防計画策定に資する降灰後土石流氾濫シミュレーション等基礎調査を実施します。



-  海上や陸上に影響を及ぼす噴火が発生する可能性のある範囲
-  噴火の影響が及ぶ可能性のある範囲

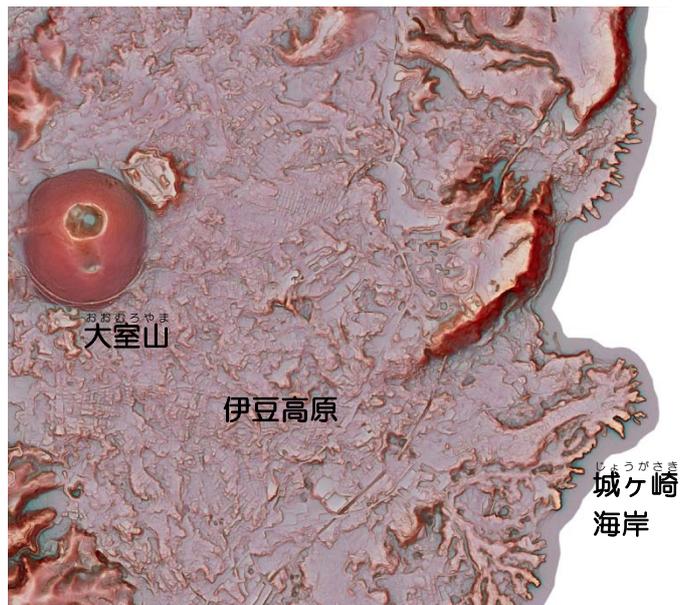


伊豆東部火山群の火山防災対策検討会報告書より



伊豆東部火山群の分布図

伊豆東部火山群の火山防災対策検討会報告書より



火山と隣り合わせの地域（赤色立体図で見る大室山と伊豆高原）

火山噴火により流出した溶岩流が伊豆高原を造り、海に流れ拡がった様子から、火山と隣り合わせの地域であることがよく分かる。

(3) 海岸関係

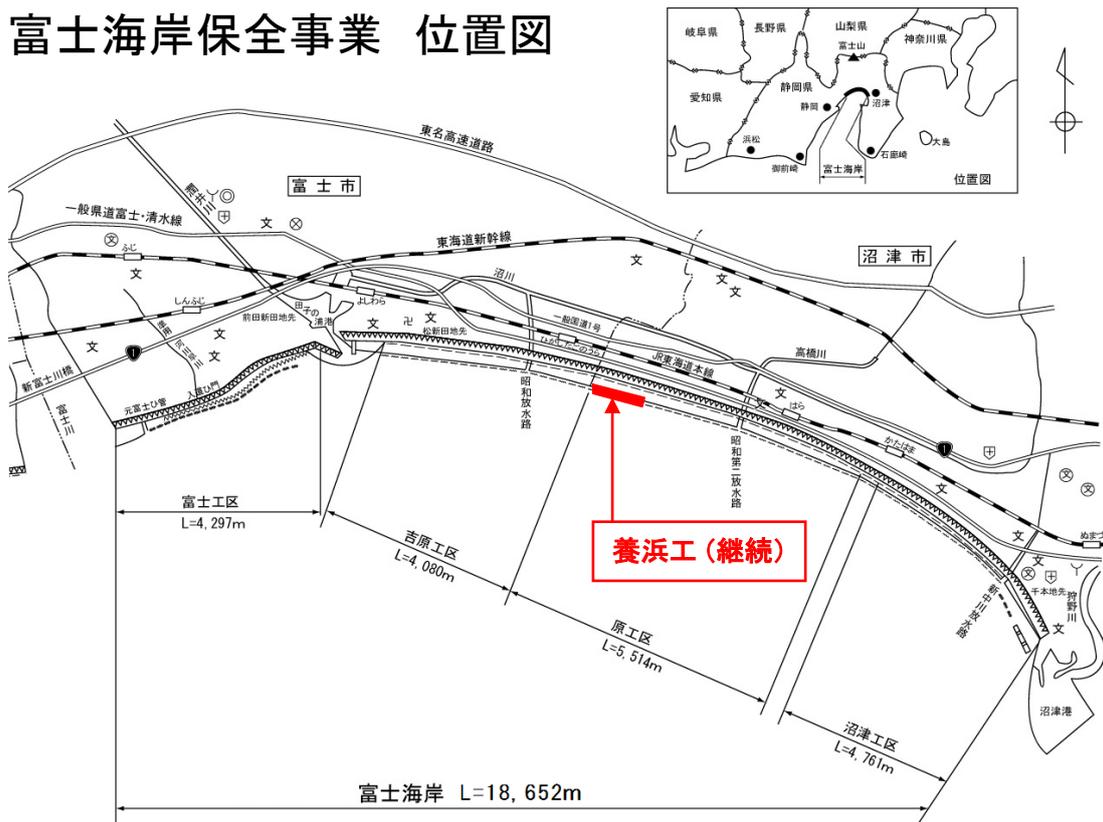
富士海岸は、昭和41年の台風26号による越波により、甚大な被害を受けたことを契機に、背後地の安全を確保するため、昭和42年6月から直轄海岸事業を実施しています。

沼津河川国道事務所は沼津港西側から富士川河口までの延長約19kmを担当しています。

平成30年度の主な事業内容

- ・ 海岸侵食に対応すると共に、土砂動態を維持・確保するため、養浜工を継続します。

富士海岸保全事業 位置図



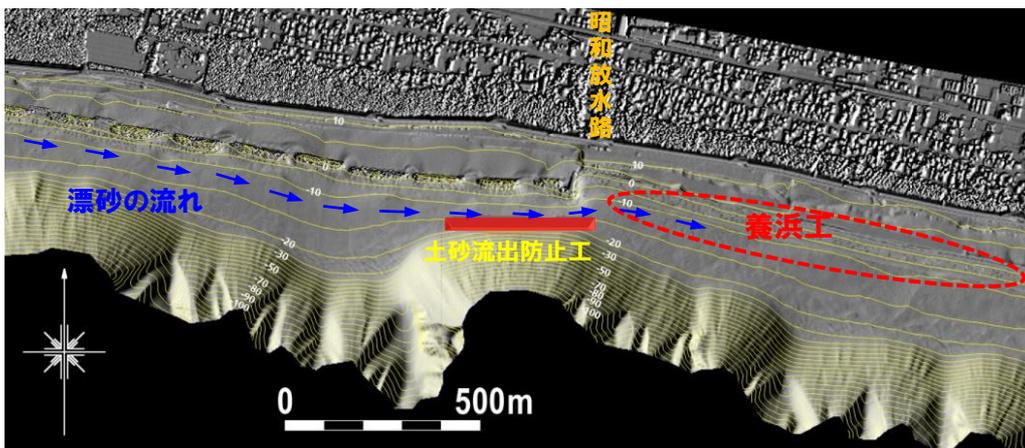
富士海岸直轄海岸保全施設整備事業

海岸資料①

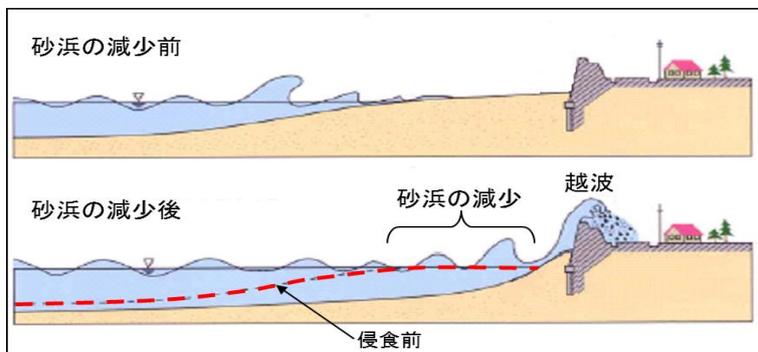
富士工区～沼津工区 静岡県沼津市・富士市

平成30年度は、汀線を維持し越波に対する安全性を保つために養浜工を実施します。

- ・現状：富士川からの供給土砂の減少や田子の浦港防波堤などによる沿岸漂砂の遮断等により海岸侵食が顕著となっています。
- ・対策：侵食傾向の著しい吉原工区にて、汀線を維持し越波に対する安全性を保つために養浜工を実施します。



浜幅が減少すると高波が堤防を越えやすくなる



【主な事業内容】

●養浜工 V= 40千m³



(4) 道路関係

静岡県東部・伊豆地域の発展を支える道路整備として、高規格幹線道路である伊豆縦貫自動車道(東駿河湾環状道路、天城北道路、河津下田道路(Ⅰ期)(Ⅱ期))及び国道1号、138号、246号の改築及び維持管理並びにそれらに関する調査を行います。

【平成30年度の主な事業内容】

■ポイント

- 国道414号天城北道路が平成30年度開通予定
- 国道1号笹原山中バイパスが平成31年度開通予定
- 国道414号伊豆縦貫自動車道 天城湯ヶ島～河津の都市計画・環境アセスメントを進めるための調査を推進
- 国道414号河津下田道路(Ⅱ期)において、河津トンネル本体の掘削開始予定

◆伊豆縦貫自動車道

国道1号 東駿河湾環状道路

○大場・函南IC～函南IC(仮称)(延長1.9km)

—調査設計(協議用資料作成等)を推進

国道414号 天城北道路

○大平IC～天城湯ヶ島IC(仮称)(延長5.1km)

平成30年度 暫定2車線(一部完成2車線)開通予定

—改良工、橋梁上部工、トンネル工、舗装工、用地買収、水文調査調査設計(協議用資料作成等)を推進

国道414号 河津下田道路(Ⅰ期)

○下田北IC(仮称)～下田IC(仮称)(延長5.7km)

—用地買収、測量、用地調査、詳細設計、水文調査、地質調査、調査設計(協議用資料作成等)を推進

国道414号 河津下田道路(Ⅱ期)

○河津IC(仮称)～下田北IC(仮称)(延長6.8km)

—改良工、橋梁下部工、トンネル工、用地買収、環境調査、水文調査調査設計(協議用資料作成等)を推進

◆一般道路

国道1号 ささはらやまなか 笹原山中バイパス

○みしま やまなかしんでん三島市山中新田（延長 1.6km）

平成 28 年 3 月 12 日 完成 2 車線開通済

○みしま やまなかしんでん みしま ささはらしんでん三島市山中新田～三島市笹原新田（延長 2.7km）

平成 31 年度 完成 2 車線開通予定

一改良工、橋梁上部工、橋梁下部工、舗装工、移転補償、
調査設計（協議用資料作成等）を推進

国道1号 ひがしするがわん 東駿河湾環状道路 ぬまづおかのみや あしたか（沼津岡宮～愛鷹）

○ぬまづおかのみや あしたか沼津岡宮IC～愛鷹IC（仮称）（延長 2.6km）

一測量、用地調査、詳細設計、環境調査、地質調査、
調査設計（協議用資料作成等）を推進

国道138号 すばしり 須走道路

○すんとう おやまちょうすばしり ごてんば みどの駿東郡小山町須走～御殿場市水土野（延長 2.7km）

一改良工、橋梁上部工、橋梁下部工、移転補償、
調査設計（協議用資料作成等）を推進

国道138号 ごてんば 御殿場バイパス（西区間）

○ごてんば みどの ごてんば さわ御殿場市水土野～御殿場市ぐみ沢（延長 2.9km）

一改良工、橋梁上部工、橋梁下部工、用地買収、環境調査、
調査設計（協議用資料作成等）を推進

国道246号 すその 裾野バイパス

○すんとう おやま いきど すんとう おやま うえの駿東郡小山町生土～駿東郡小山町上野（延長 4.4km）

一調査設計（協議用資料作成等）を推進

◆道路管理

静岡県東部地域の国道1号・138号・246号の3路線、約100kmを沼津国道維持出張所及び御殿場国道維持出張所で管理しています。

道路の維持管理

○道路パトロール、路面清掃、除草、植栽剪定、除雪作業などを行います。

道路の老朽化対策

○メンテナンスサイクルの構築

- ・道路施設は5年に1度、定期的に近接目視点検を行います。
(橋梁、トンネル、函渠、横断歩道橋、標識、照明、情報板など)
- ・点検により見つかった不具合を次回の点検までに補修します。
- ・大型車通行適正化に向けた取り組みを行います。

道路の防災・震災対策

○南海トラフ巨大地震に備え、橋梁の耐震補強工事を推進します。

交通安全対策

○『静岡県事故ゼロプラン～事故危険区間重点解消作戦～』等により、重点的かつ効果的に交通事故対策を推進します。

おやまうえの
・小山上野地区視距改良

ぬまつ
・沼津地区交差点改良

○歩行者や自転車が安全・安心に通行できる歩道空間を確保します。

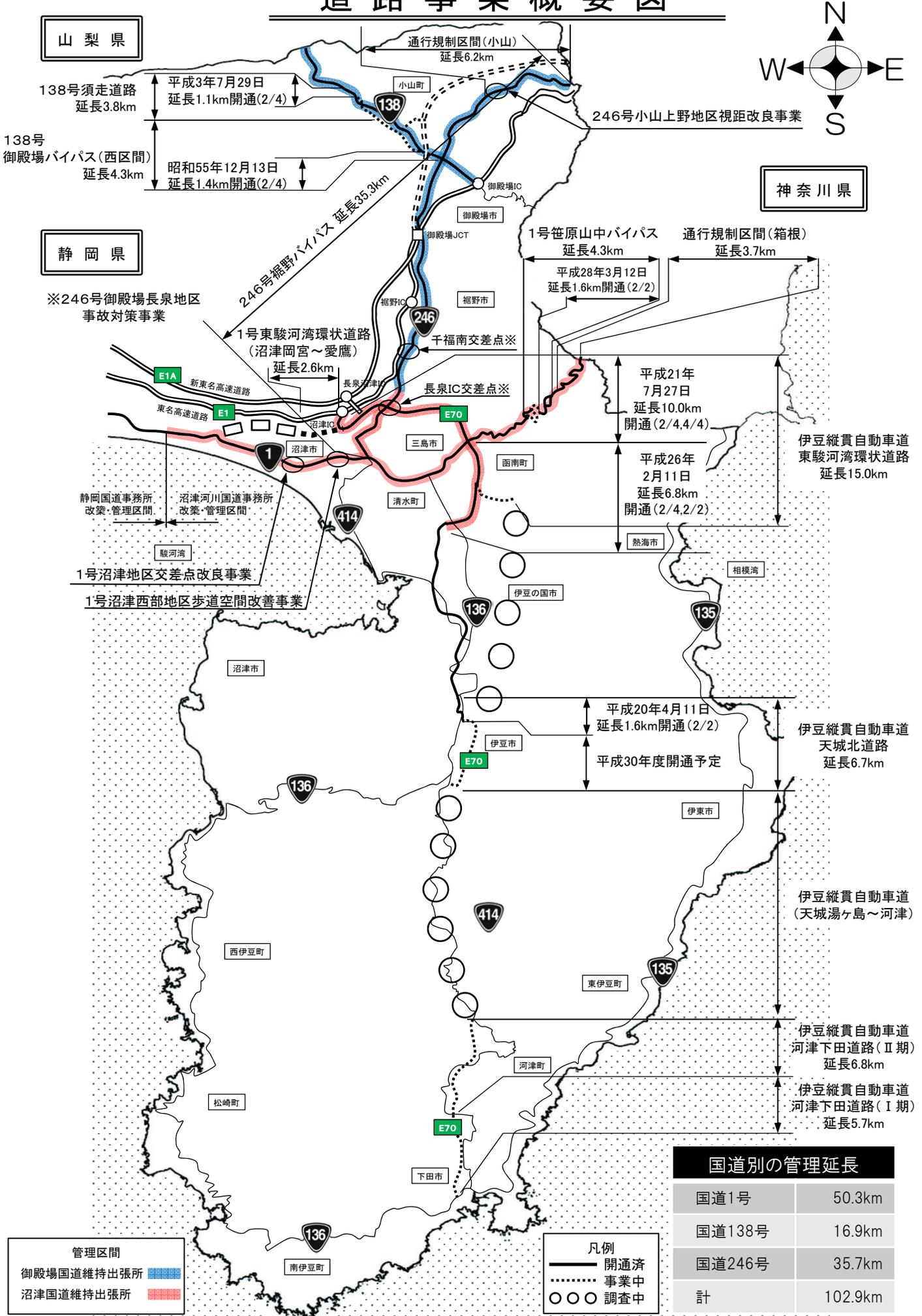
ぬまつ
・沼津西部地区歩道空間改善

○電線共同溝を整備し無電柱化することで、良好な都市景観の形成に向けたまちづくりを支援します。

・須走電線共同溝

○生活道路における事故削減を目指し、技術的支援をはじめとする地域との連携を推進します。

道路事業概要図

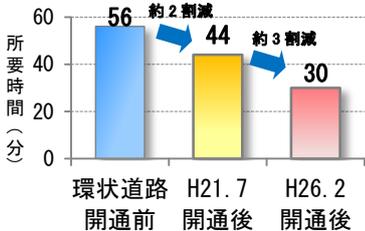


<整備効果>

■所要時間の短縮と渋滞緩和

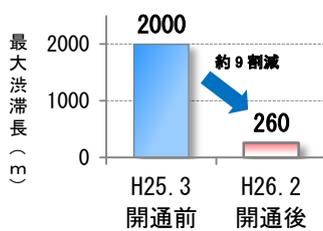
東駿河湾環状道路が伊豆中央道・修繕寺道路に接続し、広域な道路ネットワークが形成され、東名高速道路 沼津IC から天城北道路 大平IC までの所要時間が短縮しました。
 利用ルートが変わり、東駿河湾環状道路の内側にある南二日町交差点の渋滞長が大幅に減少しました。

○東名沼津IC～天城北道路 大平ICの所要時間



※所要時間算出方法
 ・環状道路開通前：H21 プローブデータ
 ・H21.7 開通後：H25.11.19 走行調査結果
 ・H26.2 開通後：H26.3.11 走行調査結果

○南二日町交差点の 開通前後の渋滞長

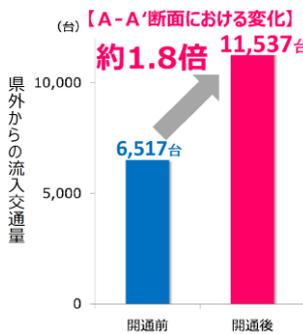


※渋滞長調査結果
 開通前：H25.3.2 6時～21時
 開通後：H26.3.1 6時～21時
 国道136号南側流入部

■観光交流客数の増加

県外から伊豆地域への流入車両が約1.8倍に増加しました。沿線市町への観光来訪者数が約1.6倍に増加しました。

○県外から伊豆地域への流入車両



資料：ナンバープレート 調査結果
 開通前 H22.8.14
 開通後 H28.8.13

○観光来訪者数 (三島市・函南町・伊豆の国市)



資料：静岡県観光レクリエーション客数 (H21.4-H29.3)



国道414号 天城北道路

天城北道路は、伊豆縦貫自動車道の一部を構成し、伊豆市修善寺を起点とし、伊豆市矢熊に至る延長6.7kmの自動車専用道路です。

国道136号、414号における交通渋滞の緩和、緊急輸送路の機能強化をはじめ、伊豆半島部への高速サービスを提供し、地域の発展、活性化を支援する天城北道路の整備を推進します。



【これまでの開通経緯】

- ・平成20年4月11日 修善寺IC～大平IC（延長1.6km）完成2車線開通

【平成30年度の主な事業内容】

○大平IC～天城湯ヶ島IC（仮称）（延長5.1km）

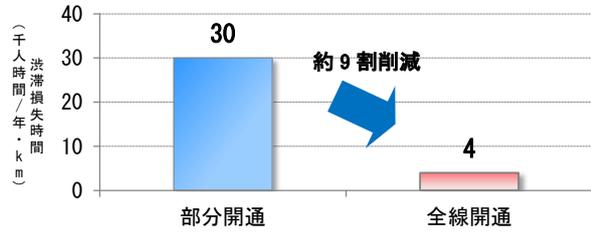
- ・平成30年度 暫定2車線（一部完成2車線）開通予定
一改良工、橋梁上部工、トンネル工、舗装工、用地買収、環境調査、調査設計（協議用資料作成等）を推進

<整備効果>

■渋滞の緩和

天城北道路の整備により交通が転換し、出口交差点の渋滞損失時間が9割削減されます。

○天城北道路整備による渋滞損失時間の削減効果



※出典：渋滞損失時間確定値（H22）、交通量推計データ

■緊急輸送道路の機能強化

災害により国道136号、414号が寸断されたとしても、天城北道路が緊急輸送路として機能し、リダンダンシーの高いネットワーク形成に寄与します。

○国道136号通行止め時の迂回時間の短縮効果



※時間算定方法：国道、迂回路：H22 センサス平日混雑時旅行速度



国道414号天城北道路（大平IC付近）の状況写真

国道414号 河津下田道路（I期）

河津下田道路（I期）は、伊豆縦貫自動車道の一部を構成し、下田市箕作を起点とし、下田市六丁目に至る延長5.7kmの自動車専用道路です。

下田市街地における観光交通による交通混雑の緩和、交通事故の削減をはじめ、伊豆半島部への高速サービスを提供し、地域の発展、活性化を支援する河津下田道路（I期）の整備を推進します。

【これまでの取組】

- ・平成25年11月13日～12月12日 都市計画案縦覧、環境影響評価準備書縦覧
- ・平成26年11月25日 都市計画決定
- ・平成27年2月21日 中心杭打ち式
- ・平成28年8月～9月 設計説明会の実施

【平成30年度の主な事業内容】

○下田北IC（仮称）～下田IC（仮称）（延長5.7km）

- 一用地買収、測量、用地調査、詳細設計、環境調査、地質調査、調査設計（協議用資料作成等）を推進



国道414号 河津下田道路（Ⅱ期）

河津下田道路（Ⅱ期）は、伊豆縦貫自動車道の一部を構成し、河津町梨本を起点とし、下田市箕作に至る延長6.8kmの自動車専用道路です。

並行する国道の未改良区間の解消をはじめ、伊豆半島部への高速サービスを提供し、地域の発展、活性化を支援する河津下田道路（Ⅱ期）の整備を推進します。

【これまでの取組】

- ・平成24年4月 新規事業化
- ・平成25年3月19日 看板除幕式（通過する場所に事業看板を設置）
- ・平成27年2月21日 起工式

【平成30年度の主な事業内容】

○河津IC（仮称）～下田北IC（仮称）（延長6.8km）

- －改良工、橋梁下部工、トンネル工、用地買収、環境調査、調査設計（協議用資料作成等）を推進



<整備効果>

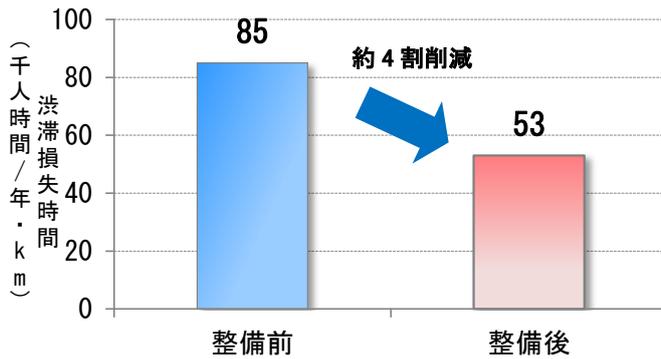
■観光支援、渋滞の緩和

かわづしもだ

河津下田道路（Ⅱ期）の整備により、国道414号の未改良区間及び夏季大型車通行規制を回避でき、観光交通のスムーズな通行が可能になります。また、河津下田道路（Ⅰ期）の整備により、交通が転換し、中島橋交差点の渋滞損失時間が約4割削減されます。観光に悪影響をあたえている国道414号のす。

なかしまぼし

○中島橋交差点の渋滞損失時間の変化



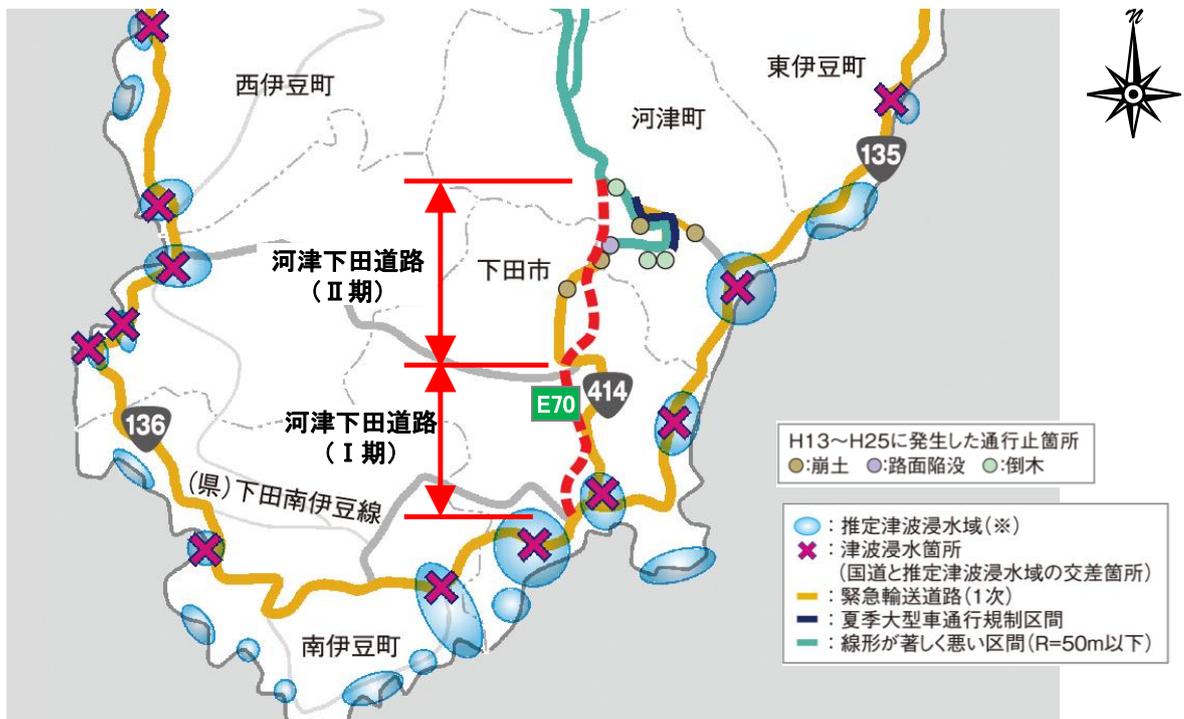
※出典：渋滞損失時間確定値（H22）、交通量推計データ



※H26.8.13 調査結果

■緊急輸送道路の機能強化

南海トラフ巨大地震による津波浸水区域、線形不良区間や隘路を回避する第1次緊急輸送路を確保することで、災害時の安全性・信頼性が確保されます。



出典：南海トラフ巨大地震の被害想定（第二次報告）（H25.3）

かわづしもだ
河津下田道路（Ⅰ期）

しもだきた
下田北IC（仮称）付近



しもだ
下田IC（仮称）付近



かわづしもだ
河津下田道路（Ⅱ期）

かわづ
河津IC（仮称）付近



きかきかわ
逆川IC（仮称）付近



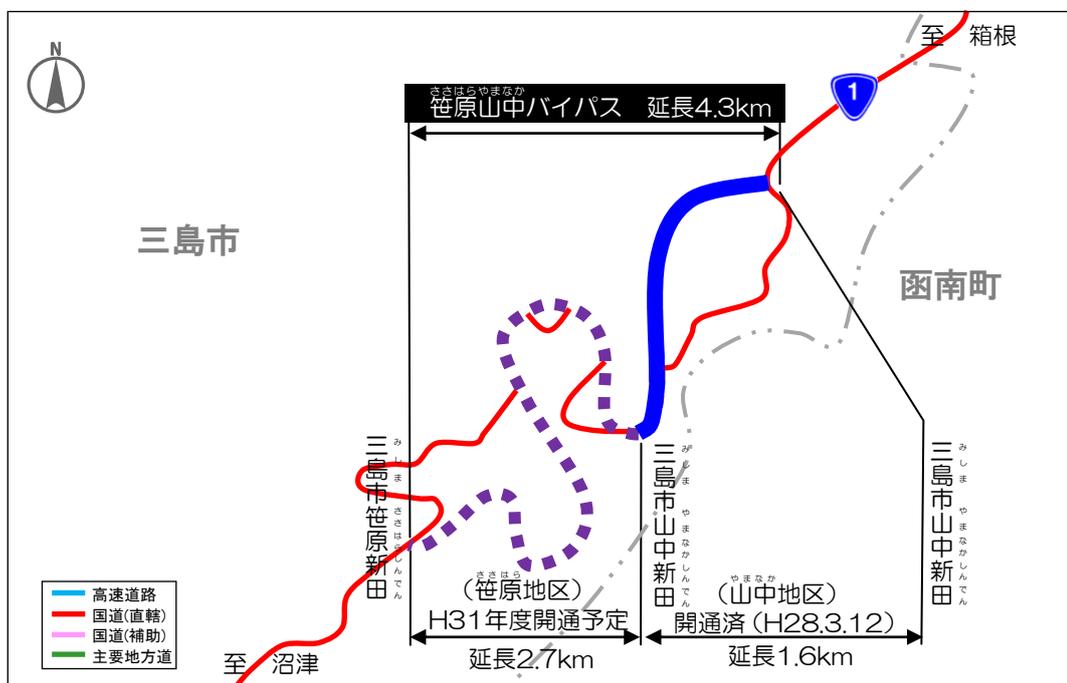
凡例	
-----	計画位置
———	橋梁部
⌋⌋	トンネル部

かわづしもだ
国道414号河津下田道路の状況写真

国道1号 ささはらやまなか 笹原山中バイパス

ささはらやまなか 笹原山中バイパスは、みしま やまなかしんでん 三島市山中新田を起点とし、ささはらしんでん 同市笹原新田に至る延長4.3kmの道路です。

国道1号現道の幅員狭小、線形不良、急勾配区間をバイパスし、交通安全の確保を図るとともに、沿道環境を改善するため、ささはらやまなか 笹原山中バイパスの整備を推進します。



【これまでの開通経緯】

- ・平成28年3月12日 みしま やまなかしんでん やまなか 三島市山中新田（山中地区）（延長1.6km）完成2車線開通

【平成30年度の主な事業内容】

○みしま やまなかしんでん みしま ささはらしんでん ささはら 三島市山中新田～三島市笹原新田（笹原地区）（延長2.7km）

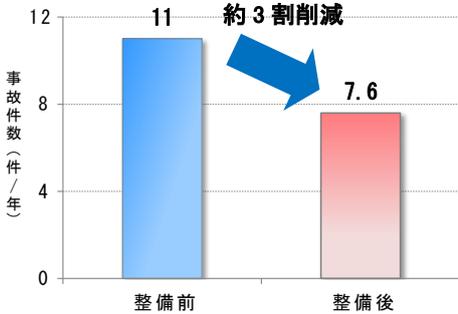
- ・平成31年度 完成2車線開通予定
 - 一改良工、橋梁上部工、橋梁下部工、舗装工、移転補償、調査設計（協議用資料作成等）を推進

<整備効果>

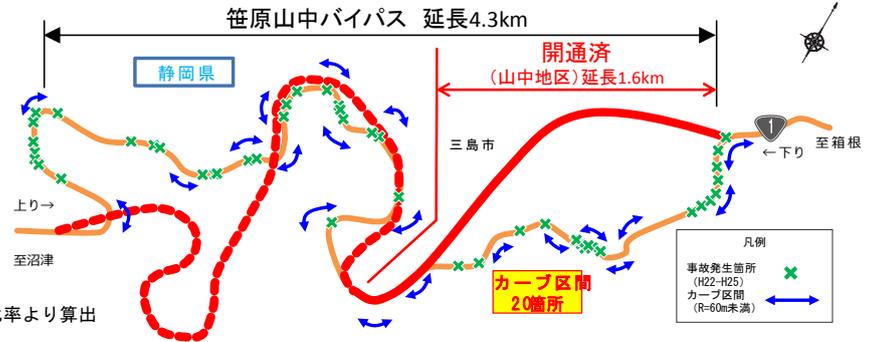
■交通事故の削減

さきほらやまなか
 笹原山中バイパスの整備により、走行環境が改善し、走行安全性が向上して交通事故件数が約3割減少します。

○開通前後の死傷事故件数の変化



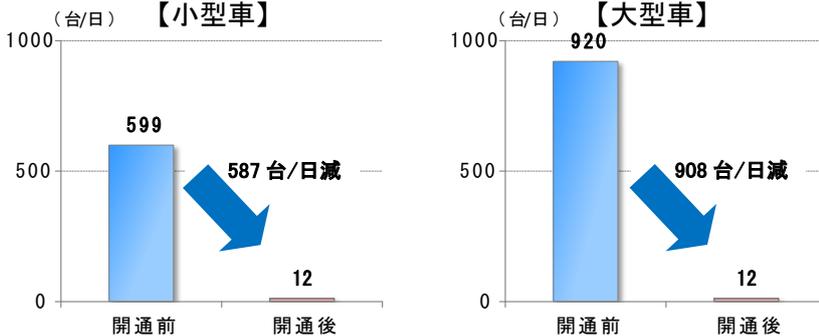
※整備前：交通事故統合データベース（H23～H26）
 整備後：交通量推計を基に整備あり・なし事故件数の変化率より算出



■騒音の緩和

さきほらやまなか やまなか
 笹原山中バイパス（山中地区）開通後は、国道1号（現道）の夜間大型車交通量が大幅に減少しました。これにより、山中新田集落地内の騒音が減少し、沿道環境の改善が期待されます。

○山中地区開通後の国道1号（現道）の夜間交通量



※トラカンの交通量（速報値）、交通量調査結果
 開通前：H28.3.8(22:00)～H28.3.9(6:00) 開通後：H28.3.15(22:00)～H28.3.16(6:00)



国道1号 笹原山中バイパスの状況写真

国道1号 東駿河湾環状道路（沼津岡宮～愛鷹）

国道1号東駿河湾環状道路（沼津岡宮～愛鷹）は、沼津市岡宮を起点とし、同市東椎路に至る延長2.6kmの道路です。

伊豆縦貫自動車道東駿河湾環状道路と一体となって沼津・三島都市圏の環状道路を形成し、現道1号等の慢性的な交通混雑の緩和及び南海トラフ巨大地震時における緊急輸送ネットワークの構築を図るため、東駿河湾環状道路（沼津岡宮～愛鷹）の整備を推進します。



【これまでの取組】

- ・ 昭和 62 年 10 月 都市計画決定
- ・ 平成 27 年 4 月 新規事業化
- ・ 平成 28 年 7 月 中心杭打ちイベント

【平成30年度の主な事業内容】

○沼津岡宮IC～愛鷹IC（仮称）（延長2.6km）

- － 測量、用地調査、詳細設計、環境調査、地質調査、調査設計（協議用資料作成等）を推進

<整備効果>

■ 定時性・速達性の向上

沼津・三島都市圏を通過する国道1号の交通量が約3割減少するなど、都心部での慢性的な渋滞が緩和し、通勤等の定時性・速達性の向上が図られ、住民生活や円滑な企業活動を支援します。

■ 災害に強い緊急輸送ネットワークの構築

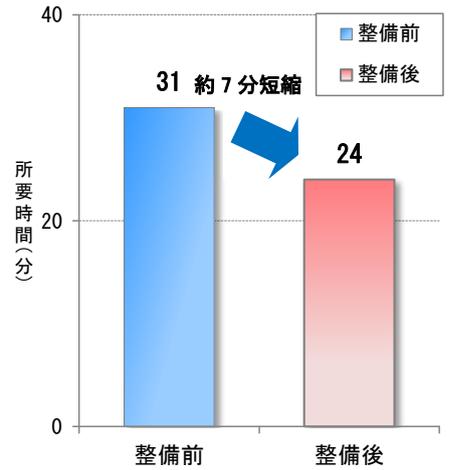
東名、新東名、東駿河湾環状道路が対象区間と有機的に連結されることで、第三次救急医療施設沼津市立病院へのアクセスルートを確認し、災害に強い緊急輸送ネットワークを構築されます。

○ 第三次救急医療施設までのアクセスルートの変化



○ 所要時間の短縮

(三島塚原交差点～沼津市立病院)



※出典 整備前：旅行速度 民間プローブデータ (H25.8)
整備後：交通量推計により、整備あり・なし時における平均旅行速度の変化率を求め、整備前に乗じて算定



国道1号 東駿河湾環状道路 (沼津岡宮IC～愛鷹IC (仮称)) の状況写真

国道138号 須走道路 すばしり

須走道路は、駿東郡小山町須走を起点とし、御殿場市水土野に至る延長3.8kmの道路です。

御殿場バイパス及び東富士五湖道路等と高速・広域ネットワークを形成することで、観光交通の集中による慢性的な交通混雑の緩和を図るため、須走道路の整備を推進します。



【これまでの開通経緯】

- ・平成3年7月29日 駿東郡小山町須走 (延長1.1km) 暫定2車線開通

【平成30年度の主な事業内容】

○駿東郡小山町須走～御殿場市水土野 (延長2.7km)

- －改良工、橋梁上部工、橋梁下部工、移転補償、調査設計 (協議用資料作成等) を推進

国道138号 御殿場バイパス（西区間）

御殿場バイパス（西区間）は御殿場市水土野を起点とし、同市萩原に至る延長4.3kmの道路です。

須走道路及び東富士五湖道路等と高速・広域ネットワークを形成することで、観光交通の集中による慢性的な交通混雑の緩和を図るため、御殿場バイパス（西区間）の整備を推進します。



【これまでの開通経緯】

- ・昭和55年12月13日 御殿場市ぐみ沢～御殿場市萩原（延長1.4km）暫定2車線開通

【平成30年度の主な事業内容】

○御殿場市水土野～御殿場市ぐみ沢（延長2.9km）

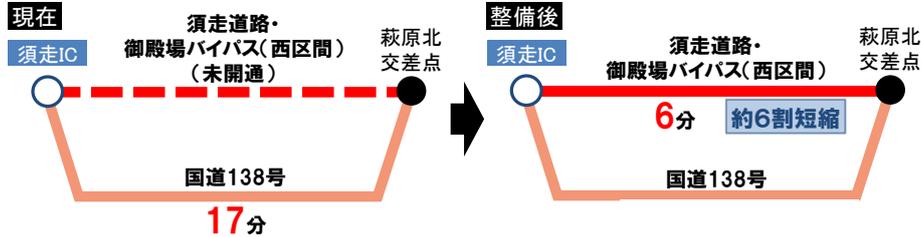
- －改良工、橋梁上部工、橋梁下部工、用地買収、環境調査、調査設計（協議用資料作成等）を推進

<整備効果>

■交通渋滞の緩和

須走道路・御殿場バイパス（西区間）の整備により、並行する現道の国道138号の交通が転換し、顕著な課題となっている観光期（休日）における交通渋滞の緩和が図られます。

○須走道路・御殿場バイパス（西区間）開通後の交通渋滞の緩和



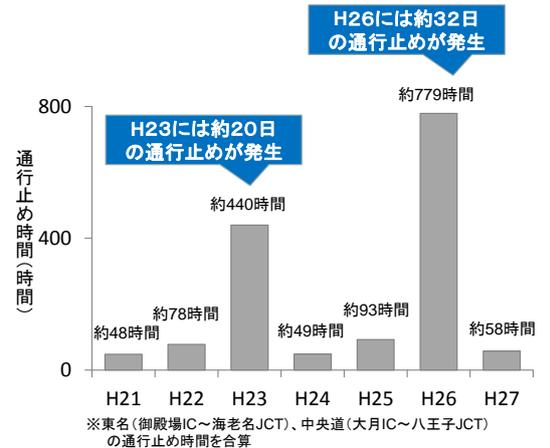
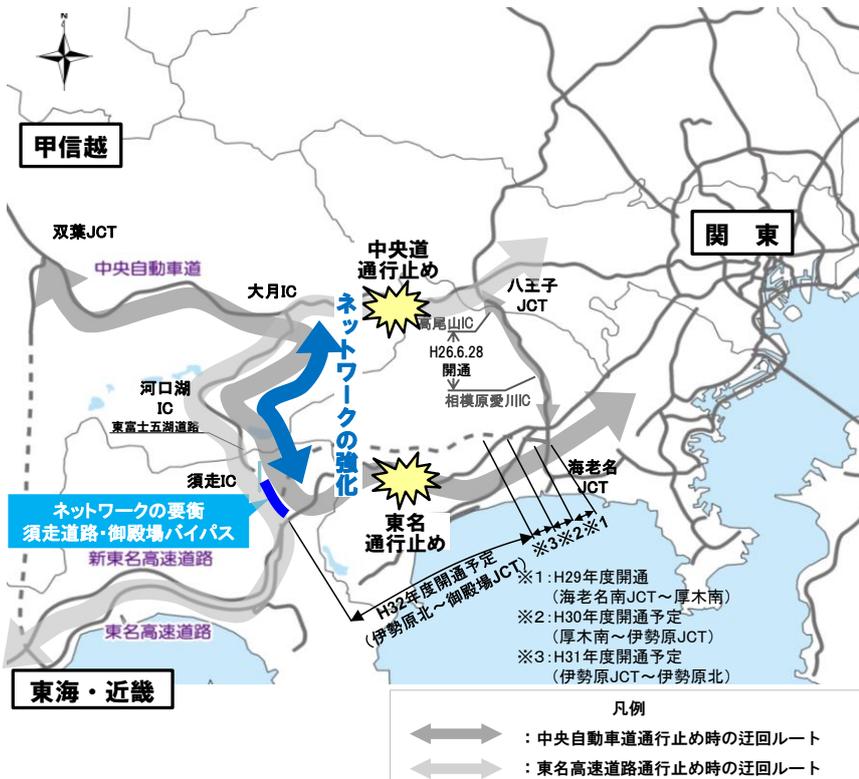
※旅行速度の算定方法 整備前:H25.8プローブデータ(休日)
整備後:・須走道路・御殿場バイパス(西区間):設計速度80km/hより算定

■災害に強い道路機能の強化

須走道路・御殿場バイパス（西区間）の一体整備により、自動車専用道路のネットワークが完成し、災害に強い道路機能が強化されます。

○東名・中央道の通行止め時にも
自動車専用道路ネットワークで迂回が可能

○高速道路の通行止め発生状況



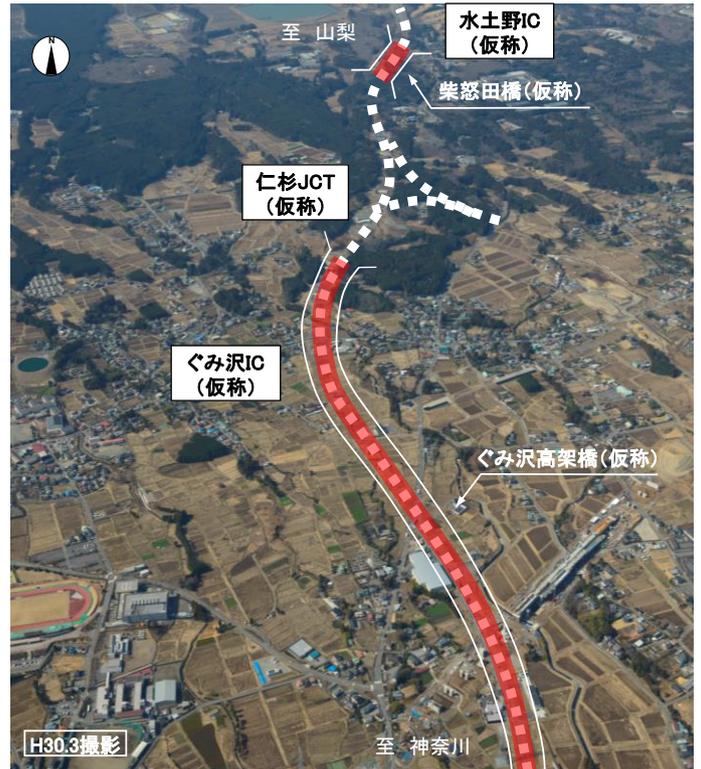
※出典 NEXCO 中日本資料

すばしり
■ 須走道路



凡例	
.....	計画位置
———	橋梁部
———	トンネル部

ごてんぼ
■ 御殿場バイパス (西区間)



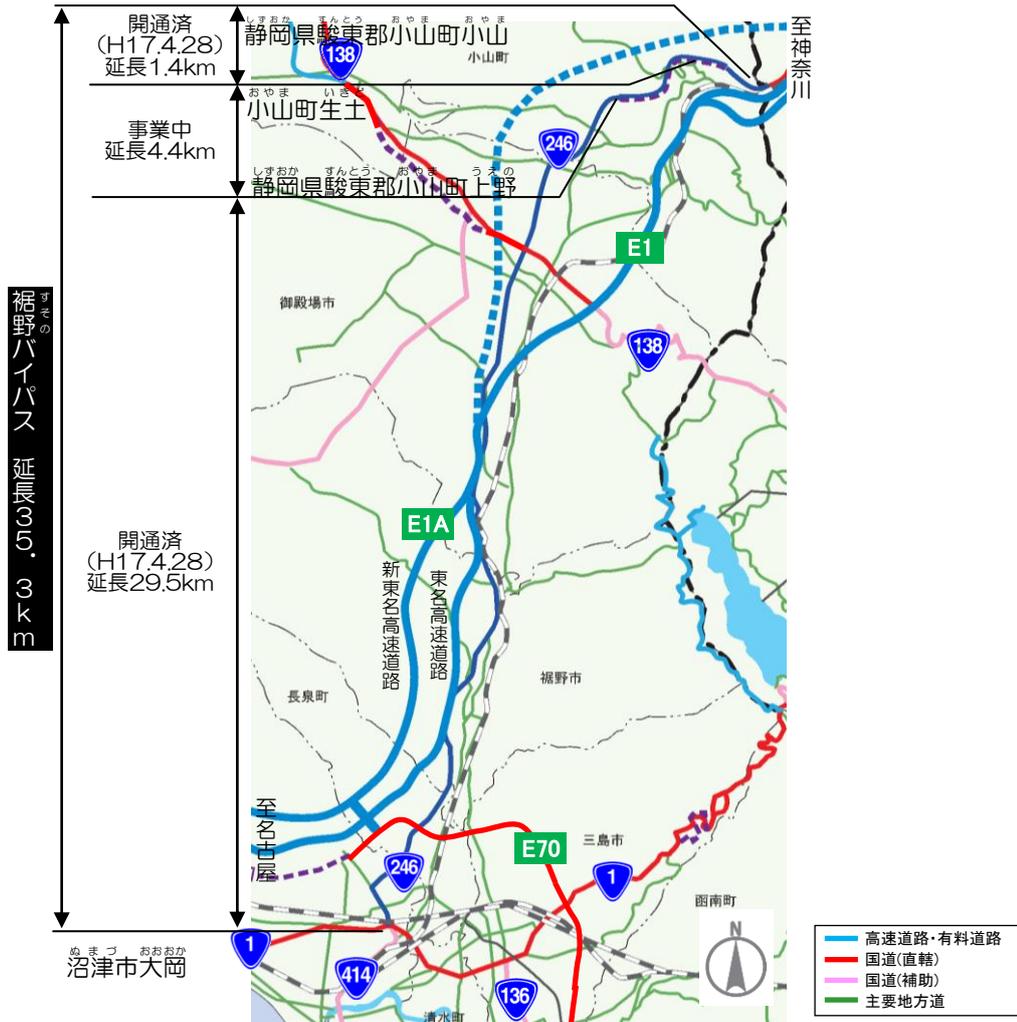
凡例	
.....	計画位置
———	橋梁部
———	トンネル部

すばしり 国道138号 須走道路・ごてんぼ 御殿場バイパス (西区間) の状況写真

国道246号 裾野バイパス

裾野バイパスは、駿東郡小山町小山を起点とし、沼津市大岡に至る延長35.3kmの道路です。

裾野、御殿場及び小山市街地における交通混雑の緩和を図るとともに、首都圏と静岡県東部地域を結ぶ幹線道路としての機能を確保するため、裾野バイパスの整備を推進します。



【これまでの開通経緯】

- 平成17年4月28日 駿東郡小山町小山～駿東郡小山町生土（延長1.4km）完成4車線開通
- 平成17年4月28日 駿東郡小山町上野～沼津市大岡（延長29.5km）完成4車線開通
- 平成25年3月27日 中島（暫定）IC開通

【平成30年度の主な事業内容】

- 駿東郡小山町生土～駿東郡小山町上野（延長4.4km）
—調査設計（協議用資料作成等）を推進

<整備効果>

■交通渋滞の緩和

すその 裾野バイパスの4車線整備により円滑な交通の流れが確保されます。

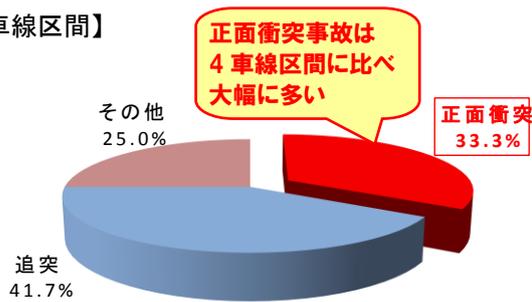


■交通事故の削減

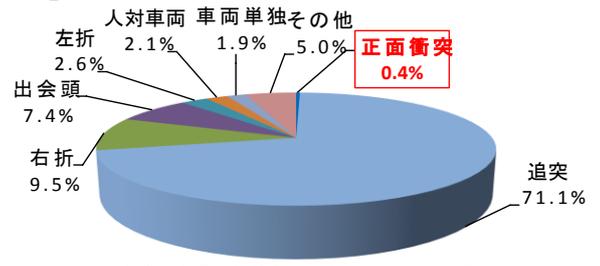
すその 裾野バイパス4車線整備により、重大事故の危険性が高い正面衝突、追突事故の発生件数の減少が期待できます。

○裾野バイパスの事故発生状況

【2車線区間】



【4車線区間】



※出典 交通事故統合データベース (H24-27)



国道246号 裾野バイパス(中島IC付近)の状況写真

道路管理関係

■道路の維持管理

- ・ 日常の道路パトロールや路面清掃、除草、植栽剪定などにより、適切な道路の維持管理を目指し「安全」で「安心」して通行できる道路を確保します。
- ・ 冬期には大雪に備え、他の道路管理者や警察などと連携し、道路交通網の混乱を最小限に抑えるよう効率的な除雪作業を行います。



除雪作業(国道1号)



タイヤチェック(国道138号)

■道路の老朽化対策

○メンテナンスサイクルの構築

- ・ 道路施設は5年に1度、定期的に近接目視点検を行います。
(橋梁、トンネル、函渠、横断歩道橋、舗装など)



橋梁点検車による点検



高所作業車によるトンネル点検

- ・自治体の職員が点検を適切に行えるようにするため、道路メンテナンス会議のなかで橋梁点検研修を開催する等、自治体支援を行います。



自治体向け橋梁点検研修(座学)



自治体向け橋梁点検研修(現地実習)

- ・道路インフラについて、現状や、永く安全に使うための定期的な点検や修繕の取組みを紹介する事を目的に「道路の老朽化対策」のパネル展を各地で開催します。



パネル展

■道路の防災・震災対策

- 東海地震などに備え、橋の耐震対策を実施することで、地震発生時における被害を軽減し、円滑かつ迅速な応急活動を支援するための緊急輸送ネットワークの確保を図ります。

【橋梁の耐震補強実施事例】



施工前



完成

交通安全関係

- 「静岡県事故ゼロプラン～事故危険区間重点解消作戦～」に基づき、交通挙動分析や現地点検等により、的確な評価分析を行い、重点的かつ効果的に交通事故対策を進めます。
- 歩行者や自転車が安心・安全に通行できる歩道空間を確保します。
- 電線共同溝を整備し無電柱化することで、良好な都市景観の形成に向けたまちづくりを支援します。
- 生活道路における事故削減を目指し、技術的支援をはじめとする地域との連携を推進します。

◆交通安全対策

【平成30年度の主な事業箇所】

○静岡県駿東郡小山町上野 静岡246号交通安全対策事業（小山上野地区視距改良）

- ・ 安心で安全に通行できるよう線形改良を実施し、交通事故の防止を図ります。
－ 調査設計、用地買収、工事を推進

○静岡県沼津市緑ヶ丘～西沢田 静岡1号交通安全対策事業（沼津西部地区歩道空間改善）

- ・ 横断歩道橋階段部の付け替えや部分的な歩道の拡幅により、歩行者や自転車が安全・安心に通行できる歩道空間を確保します。
－ 調査設計、用地買収、工事を推進

○静岡県沼津市東椎路～西椎路 静岡1号交通安全対策事業（沼津地区交差点改良）

- ・ 右折車線の延伸を実施し、交通事故の防止を図ります。
－ 調査設計、工事を推進

○静岡県駿東郡小山町須走 静岡138号電線共同溝事業（須走電線共同溝）

- ・ 無電柱化することにより、震災時における緊急輸送道路の確保、安全で快適な歩道空間を確保します。
－ 調査設計を推進

R138 須走電線共同溝



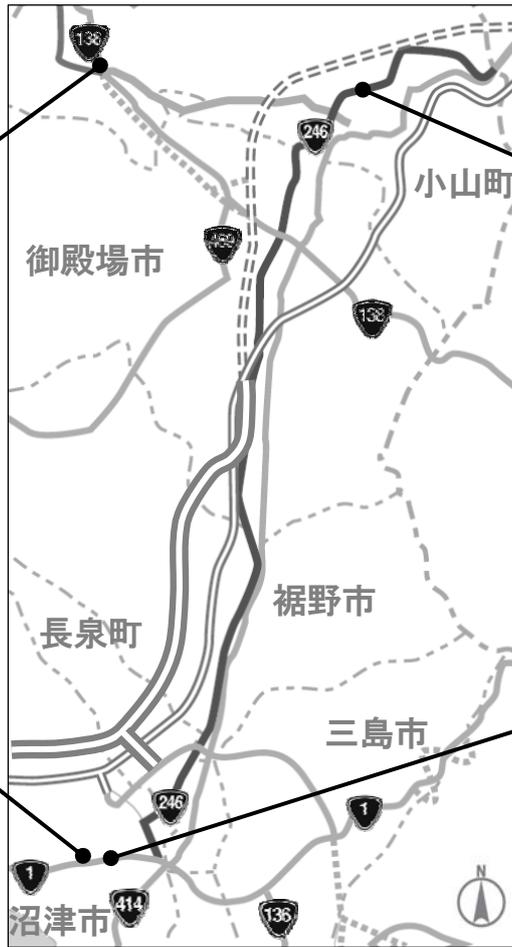
R246 小山上野地区視距改良



R1 沼津地区交差点改良



R1 沼津西部地区歩道空間改善



(5) 危機管理

静岡県東部地域の危機管理体制を強化し、災害発生の防止、被害の軽減を図ります。

◆ 各種訓練、会議の実施 — 自治体、関係機関との連携 —

水害、土砂災害、地震等に対応した訓練を地域の自治体と連携し実施しています。また災害対策等に関わる連絡会議等を開催し、自治体や関係機関との連携を図っています。

狩野川水防災協議会(6月)



狩野川連合総合水防演習・
広域連携防災訓練(5月)



◆ 観測体制の構築観測体制の構築 — 直轄管理区域内に気象観測網を整備 —

近年の集中豪雨や自然災害に備えるため、管内にリアルタイムな降雨状況を把握できるXバンドレーダーや雨量観測所20箇所及び河川水位観測所15箇所を設置し、降雨状況や水位状況及びCCTVカメラ50箇所により河川・海岸の状況把握を常時実施しています。また、収集したデータより水防団や一般住民に対して水防警報・洪水予報をはじめとする各種予警報及び海岸水防警報を発令し迅速な情報提供を行っています。なお、インターネットを通じ雨量・水位情報の提供を行っています。



ほんじゆく きせがわ
本宿水位・流量観測所(黄瀬川)

H22. 9. 8 16:30頃の映像(H22.台風9号出水時)
CCTVカメラにより撮影

この日は、^{きせ}黄瀬川上流の^{あかつか}赤塚雨量観測所でも1時間に85mmの猛烈な雨が降り、10:30からの10分間で1.82mの水位上昇を記録。

◆ 災害対策車両の配備 — 来る災害に備えて所内に車両を配備 —

災害対策車両を事務所に配備し、災害時の迅速な対応を図ります。また、被災自治体からの要請により被災箇所へ派遣し、災害支援を行います。

近年の排水ポンプ車稼働実績
(H29: 台風21号(三島市御園地区))



近年の排水ポンプ車稼働実績
(H29: 台風21号(函南町新田地区))



◆ 災害時の広域支援 — 国土交通省のネットワークを生かした広域支援 —

○ 現地情報連絡員(リエゾン)の派遣

リエゾン派遣状況
(H29台風21号: 出発式)



現地情報連絡員(通称:リエゾン)
— フランス語で「組織間の連絡、連携」の意味 —

災害時に圏域の自治体との連携を密接に図るため、圏域の18自治体とリエゾン派遣に関する協定を締結し、被害の大きい自治体へリエゾンを直接派遣して早期の情報収集を行い円滑な復旧支援につなげます。

○ TEC-FORCE(緊急災害対策派遣隊)の派遣

大規模自然災害の発生や又は発生するおそれがある場合に被災した自治体等に対して、被災状況の迅速な把握、被害の発生及び拡大防止、被災地の早期復旧等、またその他の災害応急対策に対する技術的な支援を行います。

現地調査の様子(H29九州北部豪雨)



(参考)平成30年度の事業費内訳

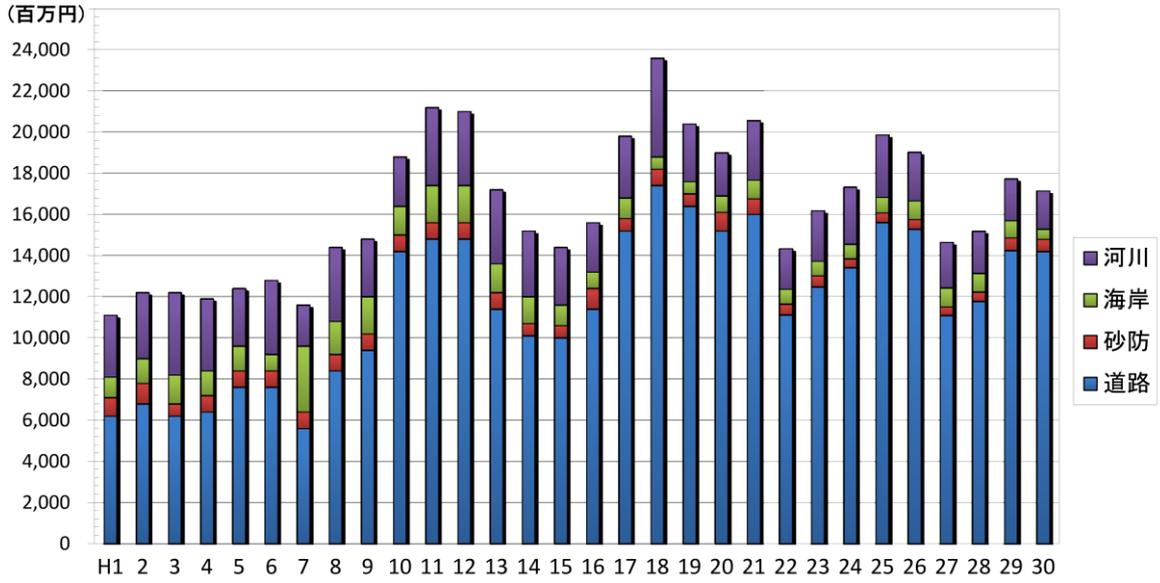
(単位:百万円)

事業内容	区分 費目	狩野川	狩野川 砂防	富 海	士 岸	H30年度 事業費計	前 年 度 初 当	前 年 度 補 正 等
治水 関係 事業	一般河川改修	1,028	0	0		1,028	992	170
	河川関係 総合水系環境整備事業	60	0	0		60	273	0
	河川維持修繕	767	0	0		767	769	110
	砂防関係 砂防事業	0	587	0		587	615	190
	海岸関係 海岸保全施設整備事業	0	0	500		500	829	541
	小計		1,855	587	500		2,942	3,478
事業内訳	区分 費目	路線名				H30年度 事業費計	前 年 度 初 当	前 年 度 補 正 等
		1号	138号	246号	414号			
道路 関係 事業	伊豆縦貫自動車道	50			7,155	7,205	8,550	687
	一般道路	2,035	4,360	10		6,405	5,020	616
	計	2,085	4,360	10	7,155	13,610	13,570	1,303
交通安全	交通安全	589				589	684	0
	計	589				589	684	0
電線共同溝	電線共同溝	10				10	0	0
小計						14,209	14,254	1,303
合計						17,151	17,732	2,314

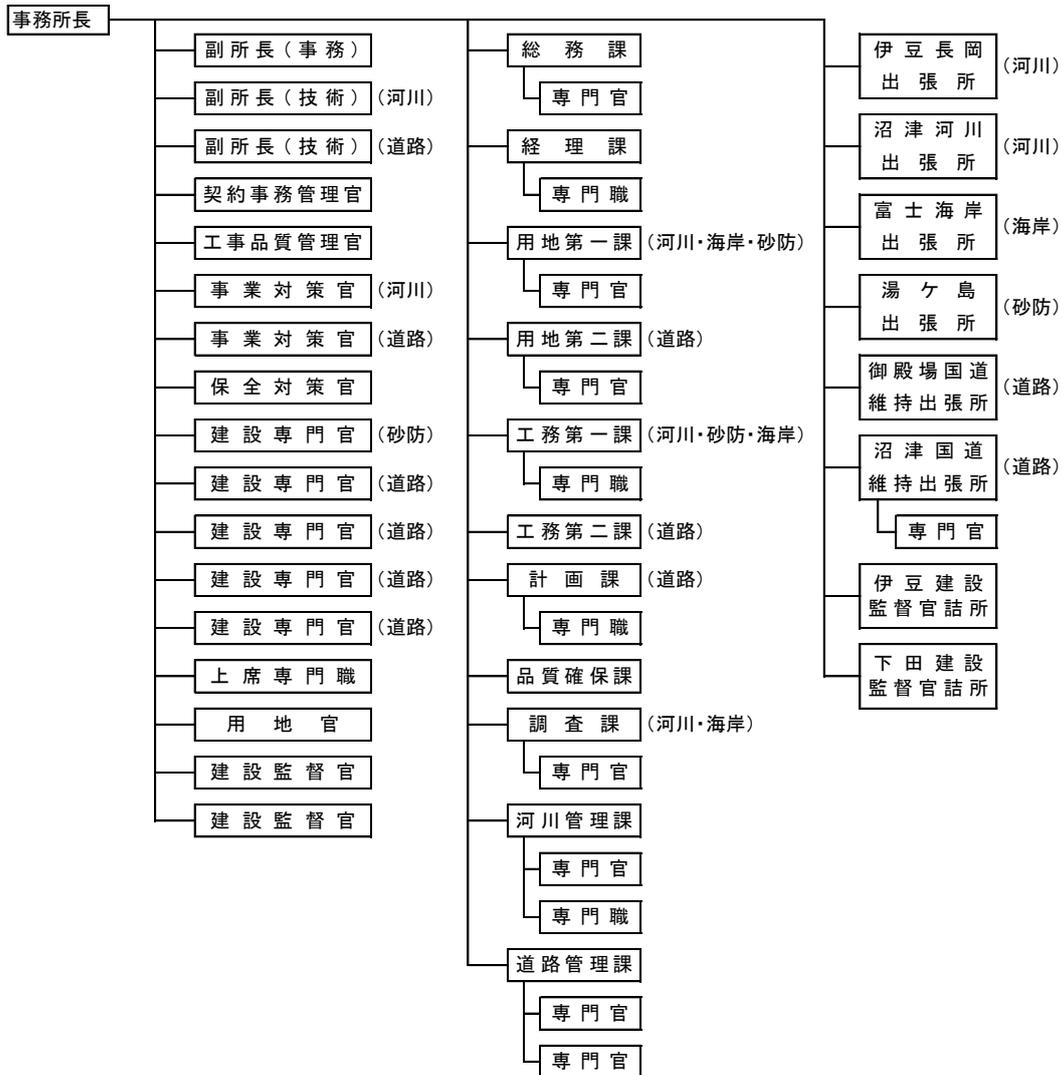
- ※ 上記金額は、「河川及び道路整備勘定」のみである。
- ※ 道路関係事業の路線別は、改築関係のみを記載している。
- ※ 上記金額は、百万円単位で整理しているため合計金額が合わない場合がある。

沼津河川国道事務所の概要

1. 事業費(当初)の推移



2. 組織



- 総務課 ☎(055)934-2001
- 経理課 934-2002
- 用地第一課 934-2003
- 用地第二課 934-2004
- 工務第一課 934-2005
- 工務第二課 934-2007
- 品質確保課 934-2008
- 調査課 934-2009
- 計画課 934-2010
- 河川管理課 934-2011
- 道路管理課 934-2017

E-mail(代表)cbr-numazu@mlit.go.jp
 ホームページ <http://www.cbr.mlit.go.jp/numazu/>



- 沼津河川出張所**
 〒410-0817 沼津市本郷町33-1 ☎(055)931-4370
- 沼津国道維持出張所**
 〒411-0943 駿東郡長泉町下土狩1027-1 ☎(055)986-1122

伊豆長岡出張所



〒410-2204
 伊豆の国市壺之上467-2
 ☎(055)948-0302

湯ヶ島出張所



〒410-3206
 伊豆市湯ヶ島131-1
 ☎(0558)85-0374

富士海岸出張所



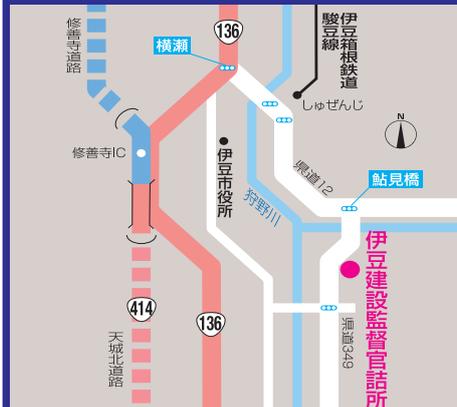
〒417-0015
 富士市鈴川町9-14
 ☎(0545)32-0568

御殿場国道維持出張所



〒412-0026
 御殿場市東田中1845-1
 ☎(0550)82-2488

伊豆建設監督官詰所



〒410-2405
 伊豆市加殿136-1
 ☎(0558)72-5585

下田建設監督官詰所



〒415-0035
 下田市東本郷1-6-13
 ☎(0558)38-0445